

西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属：緩和ケアセンター長
氏名：小田切拓也

このたび当院では、緩和ケア病棟に入院された患者さんの医学情報を用いた下記の医学系研究を、当院の倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を8. お問い合わせ、に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 対象となる方

2025年1月から2025年12月までの間に、西濃厚生病院の緩和ケア病棟に入院された方

2. 研究課題名

承認番号

研究課題名 がん性疼痛にオピオイド持続点滴を使用している中で、早送り量として1時間より多量を要した患者の特徴：ケースシリーズ研究

3. 研究実施機関 西濃厚生病院 緩和ケアセンター

4. 本研究の意義、目的、方法

【目的】がん性突出痛に対して、1日使用量の1/6を目安としたレスキュー量が用いられるが、オピオイド持続点滴患者への早送り量の推奨はなく、一般的には1時間量が用いられる。また、レスキュー量はベース量とは別にタイトレーションを要するという報告もある。当院では2023年10月より早送り量を設定できる小型シリンジポンプ(TE-362PCA)を導入した。早送りで2~4時間量を要した患者の特徴を探索する。

【方法】2025年1月~12月の1年間でオピオイド持続点滴を行った症例のなかで、早送りを2~4時間量とした症例について、年齢・性別・癌腫・オピオイドの種類・オピオイドの量・疼痛の種類・予後・血液検査・1時間量以上に増量した理由について探索する。

5. 協力をお願いする内容

患者さんの一般的な情報(年齢、性別、原発巣、余命)や、がん性疼痛に対して使用したオピオイド注射剤の量を、カルテより参照し、用います。

6. 本研究の実施機関 2025 年 1月～2025 年 12月

7. プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う個人情報は、上記のみであり、その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切扱いません。

2) 本研究で取り扱う患者さんのデータ、個人情報をすべて削除し、第3者に ほどなたのものか一切分からない形で使用します。

3) 患者さんの個人情報（氏名、病院の ID）と、匿名化したデータを結びつ ける情報（連結情報）は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、病院 より外に持ち出すことはありません。また、研究計画書に記載された所定の時点で 完全に抹消し、破棄します。

8. お問い合わせ 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。また、本研究の対象となる方やそのご家族より、データの提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先：西濃厚生病院 緩和ケアセンター 小田切拓也

〒501-0532 岐阜県揖斐郡大野町下磯 293-1 0585-36-1100、Fax0585-36-3100